

新青丸研究航海報告

- * 航海番号 KS-23-12次研究航海
- * 航海名称 (和文) 福島沿岸での事故後の放射性核種の動態解析、生態系の環境応答、
そして ALPS 処理水放出対応
(英文) Dynamics and bioavailability of radionuclides in the waters
off Fukushima, and monitoring for the discharge of ALPS
water
- * 観測海域 (和文) 常磐沖
(英文) Off Joban
- * 航海期間 令和5年8月3日(木)～令和5年 8月9日(水)
- * 出港日時・場所 8月3日 14時 横須賀港
- * 入港日時・場所 8月9日 10時 横須賀港
- * 寄港期間・場所 無し
- * 研究課題 福島沿岸海域における放射性核種の動態および生態系の環境応答
- * 主席研究員(氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
高田 兵衛・福島大学環境放射能研究所・特任准教授・h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp
- * 研究内容, 主調査者(e-mail アドレス), 観測項目
 1. 沿岸域における溶存態放射性核種の供給フラックスの観測
乙坂 重嘉(otosaka@g.ecc.u-tokyo.ac.jp): 海底堆積物の放射性核種分布
青野 辰雄(aonotatsuo@resfrei.onmicrosoft.com): 海水中の溶存放射性セシウム分布
 2. 沿岸域における懸濁態放射性核種の輸送経路の把握
高田 兵衛(h.takata@ier.fukushima-u.ac.jp): トリチウム分析
 3. 沿岸域における底生生物中放射性セシウム分布
三浦 輝(hi-miura@criepi.denken.or.jp): 高線量粒子、底生生物中放射性セシウム分布
 4. 福島第一原発施設近傍における放射性核種の生態系の環境応答
剣持 瑛行(a.kenmochi@fuji.tokai-u.jp): プランクトン、マイクロネクトン、及び魚類等
ネクトン中の放射性核種濃度分布
- * 乗船研究者氏名・所属・職名

高田 兵衛	福島大学・環境放射能研究所	准教授
乙坂 重嘉	東京大学・大気海洋研究所	准教授
青野 辰雄	福島国際研究教育機構研究開発部門	放射生態学ユニットリーダー
三浦 輝	電力中央研究所・サステナブルシステム研究本部	主任研究員
西野 圭佑	電力中央研究所・サステナブルシステム研究本部	研究員
松枝 誠	日本原子力研究開発機構・廃炉環境国際共同研究センター	研究員

剣持 瑛行 東海大学 海洋学研究所 特定助教
 Keyley Kundig チューリッヒ工科大学 技術職員
 戸田 亮二 東京大学・大気海洋研究所 技術職員
 佐藤 俊 福島大学・共生システム理工学研究所 環境放射能学専攻 大学院生
 新開 祐介 東海大学大学院 海洋学研究科 大学院生
 佐々木 萌々 東海大学・海洋学部・海洋生物学科 学部生
 川端 太作 東海大学・海洋学部・海洋生物学科 学部生
 藤井 信宏 マリン・ワーク・ジャパン 観測技術員

* 航跡・測点図

